

短期予報解説資料 2025年10月30日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5760m付近と5820m付近のトラフが南北に連なりながら、日本の南を東進。
- ② 日本付近は北日本付近に中心を持つ高気圧に覆われているが、東海道沖のシアーライン近傍ではやや強い雨を解析。
- ③ 沖縄の南～小笠原諸島付近～日本の東にのびる前線に向かう下層暖湿気の影響で、小笠原諸島では強い雨を観測。
- ④ ②の高気圧とシアーライン及び③の前線との間で、気圧の傾きが大きくなり、南西諸島～東日本太平洋側では、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしけている所がある。



2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、30日昼前にかけて伊豆諸島や小笠原諸島を通過する。伊豆諸島では1項②のシアーラインに向かう湿った空気とトラフの影響で、小笠原諸島では1項③の前線に向かう下層暖湿気とトラフの影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い強い雨や激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。
- ② 31日にかけて、500hPa 5280m付近のトラフに対応した低気圧が沿海州付近からオホーツク海へ進み、低気圧からのびる前線が北海道地方を通過する。前線に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨の降る所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ③ 500hPa 5760m付近のトラフに対応して、30日夜までに華中付近で前線が発生。31日は、前線が本州南岸にのび、朝までに前線上の四国の南に発生する低気圧が東海道沖に進む。11月1日は、この低気圧が急速に発達しながら東日本太平洋側から千島近海に進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島と西日本では31日は、東～北日本では31日～11月1日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ④ 2項①のシアーラインや前線の周辺、2項②の低気圧や前線の周辺、2項③の低気圧や前線の周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。全国的に11月1日にかけて、強風や高波に注意。特に、北日本では1日は、2項③の急速に発達する低気圧の影響で太平洋側を中心に非常に強い風が吹く見込み。暴風に警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

- 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。
- ### 4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(06時からの24時間):100mm以上はない。
 - ② 波浪(明日まで):伊豆諸島5、その他広い範囲で3～4m。
 - ③ 高潮(明日まで):東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。